



ブリティッシュ エアウエイズ 5月17日朝刊(全国)



ブリティッシュ エアウエイズ

http://www.ba.com/japan

マーケティング エグゼクティブ
田所 雅人さん



田所雅人(たどころ まさと) 東京都出身。大学卒業後、1986年入社。成田空港旅客業務、東京予約業務、東京旅客営業代理店担当を経て、92年から96年まで、中部営業支店 セールスエグゼクティブ兼名古屋空港事務所所長。その後、東京旅客営業と成田空港旅客業務を経て、2010年7月より現職。

「今年5月、売り上げ寄付連動キャンペーンのコーズ・リレーテッド・マーケティング(CRM)として、東日本震災の復興支援に5千円の寄付付きの往復航空券(渡航先・英国、ヨーロッパ)を発売された理由は。」

東日本震災が起こり、会社として社会的責任を果たすために何ができるかということを考えて、今までやったことのない方式だけれども是非やってみようということになったわけです。

「東日本震災復興支援に取り組むフードバンクのNPO法人「セカンドハーベスト・ジャパン」(東京都台東区)にいくら寄付されるのでしょうか。」

9月6日に、イギリス大使館の貿易・対英投資部で、セカンドハーベスト・ジャパンに2000

「これまでも社会的支援活動に取り組まれてきたのでしょうか。」

本社では前からやっております、特に環境問題ですね。航空会社の場合、ジェットエンジンの排気が環境に影響を与えますので、カーボン・オフセットを2009年に始めました。業界としても先駆けた取り組みでした。

「今年2月から就航した羽田ーロンドン便の評判はどうでしょうか。」

エコノミークラスのお客様にはかなり認知度が上がってきたかなと思います。数字的にも伸びております。ビジネス需要のところなんです、午前6時25分発と朝が早いので、我々としては、お客様にどうアピールしていくかが課題です。ロンドンに到着するのが午前10時40分とかなり早いのので、1日有効に使えますし、ファーストクラスとビジネスクラスなどのお客様は(ブリティッシュ・エアウエイズの)成田便では使えない(ヒースロー空港の)アライバルラウンジのシャワーなどが使えます。12時間もフライトしていると汗をかくので、身支度もそのままだと気分もよくないので、アライバルラウンジが使えるという利点をより多くのお客様に知っていただきたいと思っています。

「英国人のビジネスマンの需要は多いのですか。」

「今回の取り組みについての社内の評価はいかがですか。」

日本の同僚、社長の感想なんです、「これだけのお客様に協力をいただいたということ、結果としては良かった」と考えてます。他の航空会社でも取り組みはあったと思うのですが、日本の航空会社として大きな額をお渡しできるのは我々としては成果かなと思っています。

「現在、取り組まれている社会的支援活動は。」

英国貿易投資総省(UKTI)とブリティッシュ・エアウエイズなどが共同で、「リアシニアアンドリビルド(Reassure and Rebuild)」というキャンペーンを6月から始めました。英国の企業に東日本震災後も日本は安全で開かれた市場であることを伝えると同時に、日英の貿易・投資関係を促進するためのキャンペーンです。

ブリティッシュ・エアウエイズは年末まで使用可能なビジネスクラスの往復航空券を50枚提供しています。内20枚について、6月には日英間の貿易促進に取り組む日本企業を募集し、100を超え企業応募の中から選考させていただきました。逆に、日本市場に参入する英国企業にも、往復航空券を提供します。日英貿易の後方支援として、サポートすることができるとはなにかと考えています。

聞き手・南恵太 / 写真・橋本政明